



じゅらく がっく 聚楽学区



学区の概要

聚楽の地名は秀吉の聚楽第からはじまるという説と、それ以前に「聚楽角坊」と呼ばれる地域であったという説もあります。平安京の時代、この地域は大内裏北隅の一部と、その東には官衙（官庁）が隣接していました。しかし、度々の災禍により大内裏一帯も荒廃し、この地の諸司厨町も大きな影響を受けましたが、大舎人町や織部町にあった工人たちが、自ら座を結成しながら、日本一の高級織物をつくりだす西陣機業地の先駆的な役割を果たしていきました。

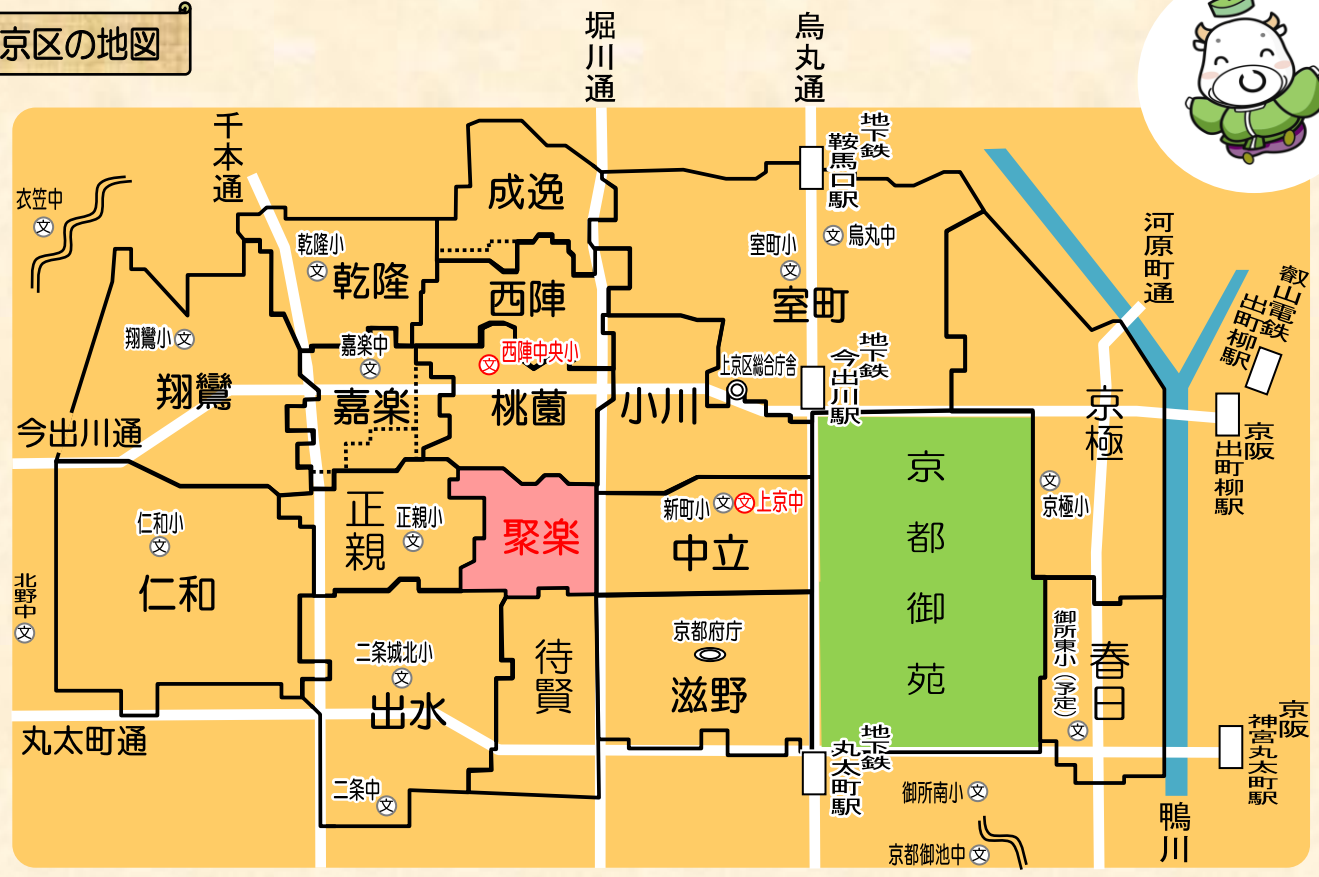
応仁、文明の内乱期には、またしてもこの地域は激しい戦火をあげましたが、戦乱がおさまるとともに、新しい機業地西陣を形成していきます。さらに秀吉の聚楽第築造にともない、周辺に新たな町景観をもたらしました。

聚楽第廃亡後、急速に町家が建設され、約40年後の寛永14年（1637）の『洛中絵図』では、すでに堀川通以西、松屋町通以東は市街化し、活気にみちた町人街の景観を現しています。

明治維新後、行政改革によって、町組の再編が行われ、明治2年、上京15番組となり、明治5年に第16区、同12年には第16組、同25年に第12学区となったのち、昭和4年に聚楽学区と改称しました。学校名の由来は、聚楽第の一角に位置したことによります。



上京区の地図



学区を代表する団体

聚楽社会福祉協議会

(発行) 上京区役所 地域力推進室 まちづくり推進担当
電話 441-5040